

学校教育目標	ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校			
	知 問題を発見し、解決に向かってねばり強く追究し続ける力をつけます 徳 相手を思いやり、よさを見つけながら、力を合わせて活動する力をつけます 体 自他の命を大切に、望ましい生活習慣を身につけ、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます 公開 学んだことを自分の生活に生かし、人のために役立てようと自ら実践する態度を育てます 開 思いやりをもって、発展的・建設的に話し合い、伝える力をつけます			
学校概要	創立 47 周年	学校長 松永 淳子	副校長 瀬木 寿哉	2 学期制 一般学級: 13 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 410 人		主な関係校: 岩崎中学校 岩崎小学校	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岩崎中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくり 言語能力 共感性	岩崎中学校 岩崎小学校 桜台小学校 保土ヶ谷小学校	児童・生徒自らが課題を見つけ、解決しようとする ・ブロック主幹会議を通して、小中間の年間行事の把握と各校の情報交換を密に行い、ブロック内の小中一貫教育をより一層充実させる。 ・ブロック内の児童生徒間、教師間の定期的な交流を通して、児童生徒の成長の様子が共有できる場を構築する。

中期取組目標	○子どもの可能性を伸ばすために、一人ひとりの思いを大切に、保護者・地域・学校が協力して取り組みます。 ・1年目は自分の思いを伸びやかに表現できる学習の場面を工夫していきます。 ・2年目は学び合える力を育て、伝え合う楽しさを習得できるようにします。 ・3年目は自分や友達の考えから自分の思いや考えを深められるようにします。 ○学校と保護者・地域が情報を共有することで、自分や地域を大切にすることができる心を育てます。 ・3年間を通して、一人ひとりの子どもたちがそれぞれの居場所がもて、楽しく学校生活が送れるようにします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>確かな学力</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究研修部</td> </tr> </table>	知	確かな学力	担当	研究研修部	①校内での授業研究・教材研究を進め、子どもが問題解決のために必要なことを自分なりに考え、自己を表現する力を身に付けることができるようにする。②学力・学習状況調査等を活用して実態を把握し、個に応じた指導を進める。③国語や算数等の知識・技能の習得を図るため、週3日朝15分間の学習時間帯を活用する。
知	確かな学力				
担当	研究研修部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活・カリマネ評価部</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	特活・カリマネ評価部	①「道徳の時間」やスマイルハート(月の生活目標)等をきっかけにして、全教育活動を通じて道徳教育を推進する。②相手を思いやったり、自己有用感を高めたりするために、異学年交流を計画的に取り入れ、振り返りを充実させ、実践につなげる。
徳	豊かな心				
担当	特活・カリマネ評価部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育・保健安全部</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	体育・保健安全部	①体育・保健の授業や健康会議(学校保健委員会)等の取組、給食指導を通して、児童が体の成長に必要なことを知るようにするとともに、保護者に生活習慣の改善についての情報を発信していく。②集会や委員会活動での機会をきっかけにして、継続的に体力づくりに取り組む。
体	健やかな体				
担当	体育・保健安全部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>自分づくり (キャリア)教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>カリマネ評価部</td> </tr> </table>	公開	自分づくり (キャリア)教育	担当	カリマネ評価部	①「自分づくりパスポート」を活用し、自分自身の変容や成長を自己評価できるようにする。②生活科や総合的な学習の時間を中心に、多様な人と関わる体験的な活動や「本物」に触れる体験を通して、学びを生活や将来に結び付け、子どもが社会や集団の中で役割を意識したり、豊かな感性を磨いたりすることができるようにする。
公開	自分づくり (キャリア)教育				
担当	カリマネ評価部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童指導部	①月1回のいじめ防止対策委員会の他に、未然防止と実態把握を確実に行うために、年数回のアンケートを適切な時期にとるとともに、日々の情報交換を密にし、早期対応、早期発見を目指す。②いじめなど子ども・保護者からの訴えには初期の段階から保護者・専任等を交え組織的に対応する。
いじめへの対応					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部	①学校運営協議会を設置し、学校運営への参画や連携強化、保護者や地域と学校が一体となって児童の健全育成に取り組む。②支援委員会を中心に、地域学校コーディネーターと連携しながらボランティアを募り、子どもたちの学習環境の整備を進める。
地域学校協働活動					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	児童指導部	①特別支援教育コーディネーターを中心に一人ひとりの教育的ニーズに応じたヒマラヤタイム(特別支援教室)の校内体制を整える。②支援を要する児童への効果的なアプローチを継続して行う。③校内での研修の機会を大切に、職員が同じ視点で児童を支援していく体制を整える。
特別支援教育					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">情報教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>研究研修部</td> </tr> </table>	情報教育		担当	研究研修部	①ICT機器を日常的に様々な場面で使い、これまでの実践とICT機器を組み合わせることで、児童の学びへの意欲や自己表現力の向上を目指す。②職員がICTの活用に必要な資質・能力を身に付けられるように、職員研修の機会をつくる。③ICT支援員と連携し、校内のICT環境を整備する。
情報教育					
担当	研究研修部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部 メンター</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部 メンター	①業務を通して、キャリアステージに応じた資質・能力を身に付けることができるようにメンターチームや二部会・二委員会等を充実させる。②ワークライフバランスを考えて、職員室アシスタントの活用、会議の精選及び主幹会や教務会でしっかりと内容を吟味することで、時間短縮など働き方改革を実践する。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部 メンター				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">a15</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	a15		担当		a25
a15					
担当					